

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	20	地方公共 団体名	栃木県	消防団名	—
担当課	県民生活部 消防防災課		連絡先	Tel 028-623-2127 E-mail syoubou@pref.tochigi.lg.jp	
事業名	情報誌と連携した消防団応援事業				
事業詳細	○ 事業の目的・必要性 (目的) 消防団員確保のため、消防団の存在意義や活躍等を広く発信し、社会全体で消防団を応援する雰囲気を作ることにより、消防団員の士気の向上及び消防団活動に対する社会全体の理解促進を図ることを目的とする。 (必要性) 消防団員の確保においては、消防団の存在意義や活動等を掲載するなど、広報内容の充実を図ることにより、社会全体で消防団を応援する雰囲気を作ることが重要であることから、情報誌と連携し、消防団活動に対する理解促進を図っていく必要がある。 ○ 事業内容 ① 消防団の魅力等の発信 ・ 女性や若者が消防団の存在を意識するとともに、イメージ向上に繋がるよう、消防団の魅力等を特集した web ページを制作し、広告企業のホームページにおいて公開した。 ・ 無料情報誌(フリーペーパー)とタイアップし、消防団の魅力等を掲載したフリーペーパーを発行した。 ② 「栃木県消防団応援の店」制度の活性化 ・ 「栃木県消防団応援の店」制度の登録用オンラインフォームを制作し運用した。 ・ 社会全体で消防団を応援する雰囲気を作る趣旨に賛同し、登録店舗の加入促進を目的とした、登録店舗募集チラシを作成し配布した。 ・ 県内消防団員向けに制度の周知及び登録店舗の利用促進を目的としたリーフレットを作成し配布した。				

【フリーペーパー】



【特集ページ】

「地道な活動だからこそ、感謝の気持ちが嬉しい」

消防団の活動を知る機会があり、女性分団が設立した2013年から参加。現在はツルミ食堂三代目店主であり、分団長も務めている鶴見さん。火災予防等の広報、高齢者宅への防火診断、AEDの使い方などの防火啓発、応急手当の普及指導が主な活動内容です。“教えてもらえてよかった！”“お子さまからの‘ママに教える！’”などの言葉が励みになっています。(2枚目)



【上三川町消防団第1分団 副分団長】野澤 貴 司さん 30代 18年勤務 【群馬県原市消防団黒磯支団 第1分団】須藤 健二さん 20代 11年勤務

農業を営みながら消防団の活動に参加。特に災害時の交通整理などは、地元だからこそ協力ができるとのこと。消防団員の育成にも力を注いでおり、その長年にわたる活躍から模範消防団員に表彰された。

災害時など、地域の力になれるのがやりがいとのこと。また大学生の時から消防団に所属しており、全国大会出場などをきっかけに、より地域のために働きたいという思いから現在は市役所に勤務している。

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
消防団特集 ホームページ	閲覧数	10,000 アクセス	15,747 アクセス	情報誌 HP に掲載
消防団特集 フリーペーパー	配布数	80,000 部	80,000 部	県内 2,500 店舗に配置
消防団応援の店 店舗募集チラシ	配布数	5,000 枚	5,000 枚	フリーペーパー設置店に配布 各種イベント時に配布
消防団応援の店 利用促進リーフレット	配布数	20,000 部	20,000 部	県内の全消防団員に配布

○ 事業成果

広告企業の持つ広報力を活かし、消防団の魅力を発信することで、消防団の存在意義や、やりがいを広く県民に周知することができた。

また、女性や若者層が手に取りやすい「フリーペーパー」とタイアップすることで、家庭の理解や若者層へ情報発信をすることができた。

その他参考 情報

(栃木県 HP 令和4年度消防団加入促進 PR 事業紹介)

○ [http:// www.pref.tochigi.lg.jp/c02/2022syouboudan.html](http://www.pref.tochigi.lg.jp/c02/2022syouboudan.html)

